



令和3年4月22日(木)
荒川水系濁水調整協議会
(事務局:関東地方整備局)

記者発表資料

令和3年度
第1回荒川水系濁水調整協議会
(春季定例会)の開催結果について

1. 開催状況

日時 : 令和3年4月21日(水)
場所等 : 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面による議事となりました。
協議会構成 : 国土交通省関東地方整備局、農林水産省関東農政局、東京都、埼玉県、独立行政法人水資源機構
協議会の目的 : 荒川水系の濁水時における円滑な水需給の調整を図る。

2. 開催結果

別紙のとおり

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、
東京都庁記者クラブ、水資源記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 河川部 河川環境課 河川環境課長 建設専門官	あかみち しょうご 赤道 正悟 (内線) 3651 つちや ひでき 土屋 英樹 (内線) 3652	住所 〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館 電話 (代表) 048-601-3151
--	--	---

現状と今後の対応

(1) 現状

- 降水量（秋ヶ瀬地点上流域平均）の状況
 - 1月の降水量は36mm（平均値に対する割合103%）
 - 2月の降水量は43mm（平均値に対する割合108%）
 - 3月の降水量は110mm（平均値に対する割合155%）
 - 4月19日0時までの累加降水量は43mm（4月の累加降水量の平均値は96mm）
- 荒川4ダムの貯水状況（4月19日0時現在）

貯水量は同時期の平均貯水量を下回っています。

貯水量8,421万m³、貯水率58%、平均値に対する割合84%

(2) 今後の見通し

- 気象庁発表の気象情報（1ヶ月予報：4月17日から5月16日までの天候見通し）によると、向こう1ヶ月の降水量は「少ない」の確率が40%となっています。
- 荒川4ダムの貯水量は平年を下回っており、今後は水需要の多い時期となることから、降雨状況によっては、ダムの貯水量が急激に減少することも考えられます。

(3) 今後の対応

- 今後は、荒川流域の降雨状況、農業用水や都市用水の水利用を十分考慮して、既存施設を広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。
- 荒川ダム群の貯水量や降水量の状況等の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。
- 荒川水系渇水調整協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。

令和3年度 第1回荒川水系
渇水調整協議会（春季定例会）

荒川ダム群等の現状と今後の見通しについて



滝沢ダム上流域の状況（令和3年4月15日撮影）

令和3年4月21日

関東地方整備局

1. 荒川4ダム等の現状

(1) 秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況（令和3年4月19日0時までの降水量）

《令和2年》

令和2年10月は台風14号等の影響により209mm（平均値161mm）と平年を上回りましたが、その後11月、12月は平均値を大きく下回る降水量でした。

《令和3年》

1月、2月は平均値並みの降雨でしたが、3月は110mmと平均値（71mm）を上回りました。

4月の降水量は、19日0時までの累加で43mmとなっています。（4月の降水量の平均値は96mm）（図-1、表-1参照）

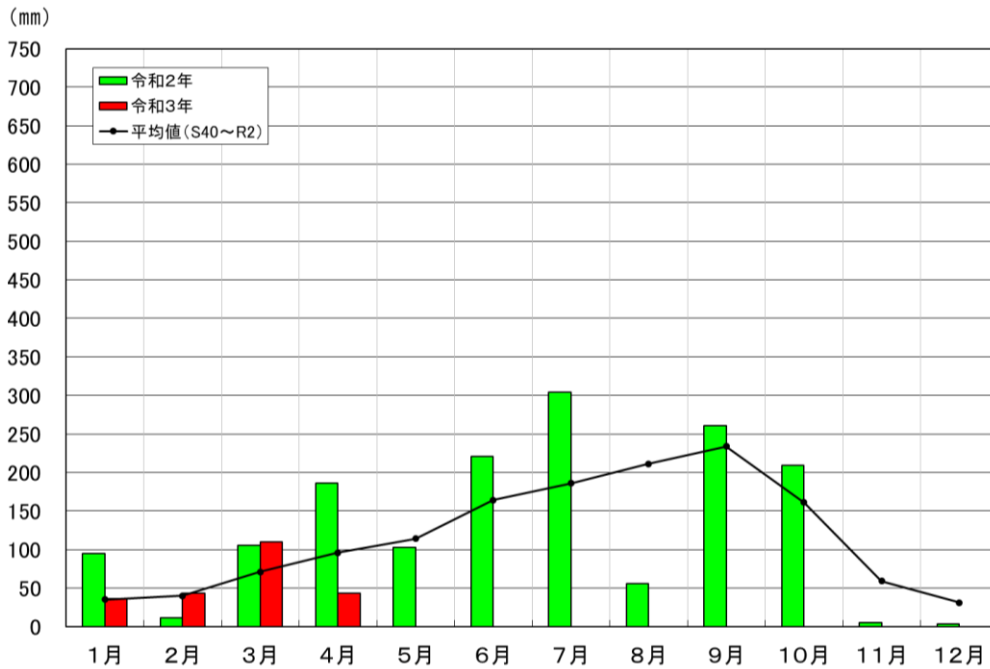


図-1 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和3年4月19日0時まで）

表-1 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和3年4月19日0時まで）

単位 (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975	利根川・荒川夏湯水
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1,464	荒川夏湯水
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191	利根川・荒川夏湯水
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1,135	荒川夏湯水
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川・荒川冬夏湯水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657	利根川夏湯水
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1,335	利根川夏湯水
平成25年	35	18	37	152	36	172	94	77	238	327	17	46	1,249	利根川夏湯水
平成28年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1,414	利根川夏湯水
平成29年	24	10	73	67	67	70	218	263	138	488	13	7	1,437	荒川夏湯水
令和2年	95	11	105	186	103	221	304	56	261	209	5	3	1,559	-
平均値 (S40-R2)	35	40	71	96	114	164	186	211	234	161	59	31	1,402	-
令和3年	36	43	110	43	-	-	-	-	-	-	-	-	232	-
平均値に対する割合 (%)	103	108	155	45	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-

※ ■ : 荒川取水制限実施月（一時緩和含む） 秋ヶ瀬地点上流域面積: 2.021km²

(2) 荒川4ダムの貯水状況等 (令和3年4月19日0時現在)

《令和2年》

令和2年11月、12月の少雨の影響により平均値を下回る貯水量で推移しました。

《令和3年》

令和3年に入ってから平均値を下回る貯水量で推移し、令和3年4月19日0時の貯水量は8,421万m³、貯水率58% (貯水量の平均値 (平成22年~令和2年) に対する割合は84%) となっています。(表-2、図-2参照)

表-2 荒川4ダム貯水量 (令和3年4月19日0時現在)

ダム名	有効容量 (万m ³)	前日貯水量 万m ³	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)
二瀬ダム	2,000	915	950	48	-35
滝沢ダム	5,800	3,153	3,162	55	-9
浦山ダム	5,600	3,478	3,485	62	-7
荒川貯水池	1,020	758	824	81	-66
4ダム合計	14,420	8,304	8,421	58	-117
4ダム合計の平均値 (平成4年~令和元年)			10,084	(平均値に対する割合84%)	

※有効容量は、常時満水容量

※貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合

※前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差 (値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。)

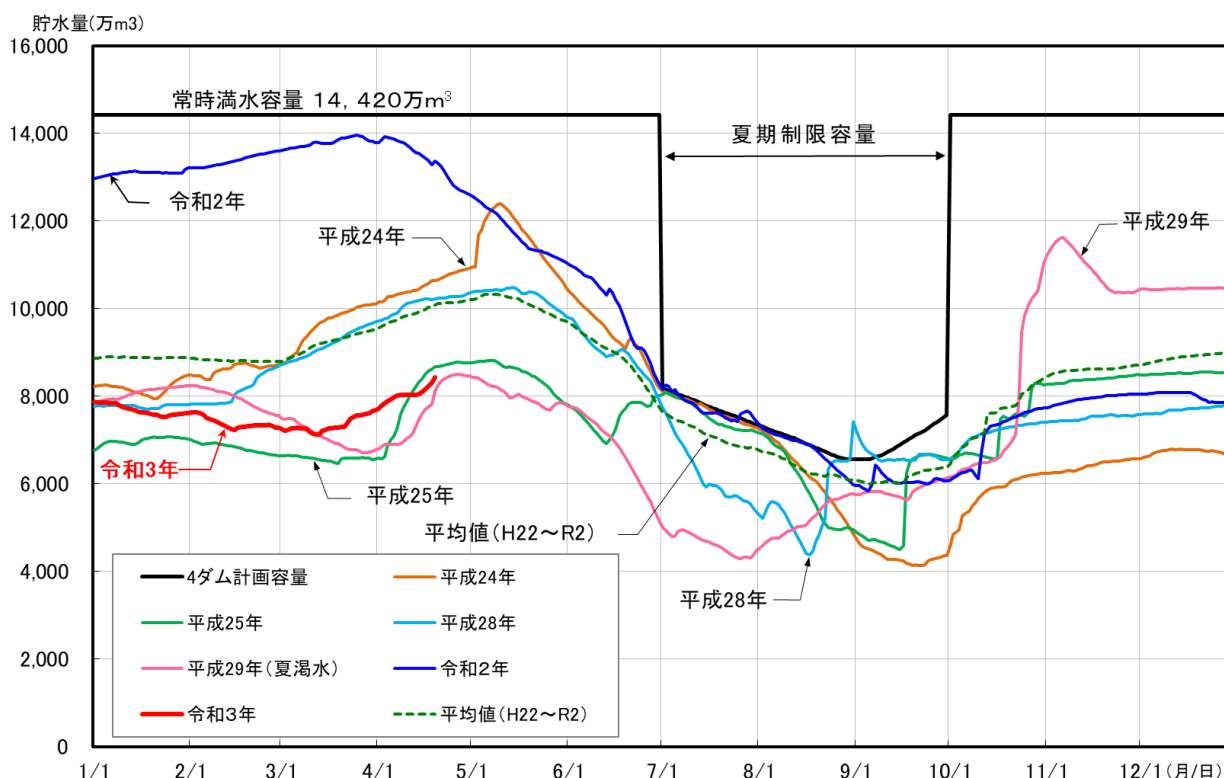
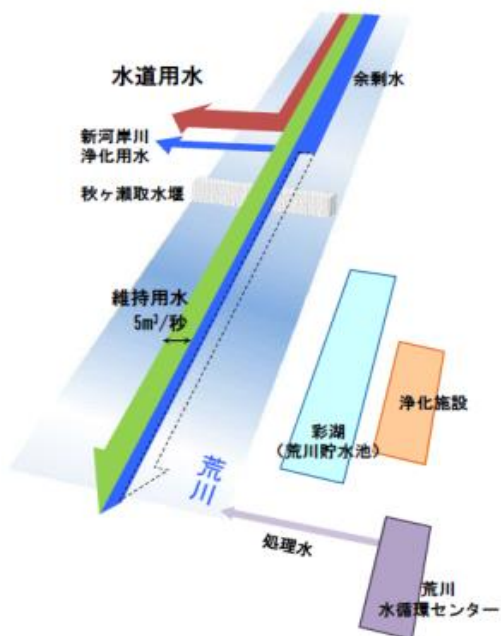


図-2 荒川4ダム貯水量図 (令和3年4月19日0時現在)

(3) 荒川第一調節池浄化施設の運用状況

荒川本川流量で水道用水が取水できるとき

- ・堰上流に必要な水量を取水します。
- ・余剰水は堰下流へ放流するとともに、新河岸川への浄化用水として利用します。
- ・彩湖の貯水量が少ない場合には彩湖に取水することもあります。



荒川本川流量で水が足りないとき

- 水道用水を確保するため、
- ・彩湖(荒川貯水池)から堰の上流に補給します。
 - ・下水処理水を浄化施設に導水して浄化し、堰の下流に放流します。これにより、秋ヶ瀬取水堰は下流への放流量を減らすことが可能となり、結果として堰上流で水道用水の取水が可能となります。

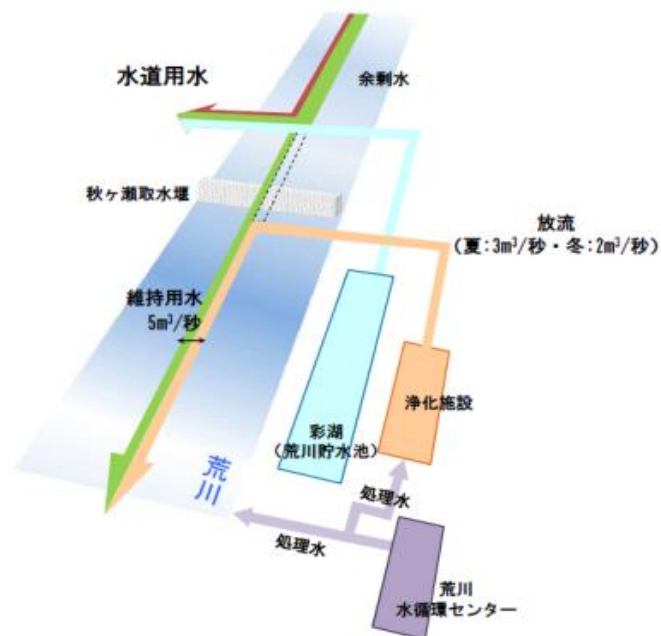


図-3 荒川貯水池及び浄化施設による利水補給

令和3年1月1日から4月19日までに約955万 m^3 (59日間)の補給をしています。(図-4参照)

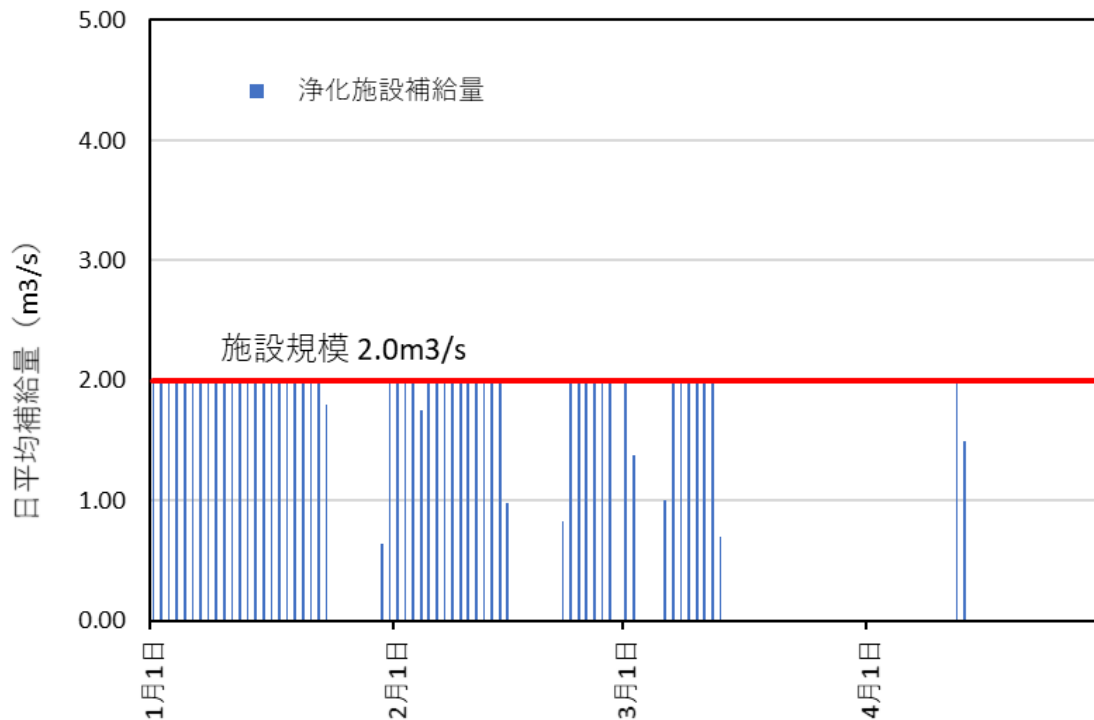


図-4 荒川第一調節池浄化施設の運用状況

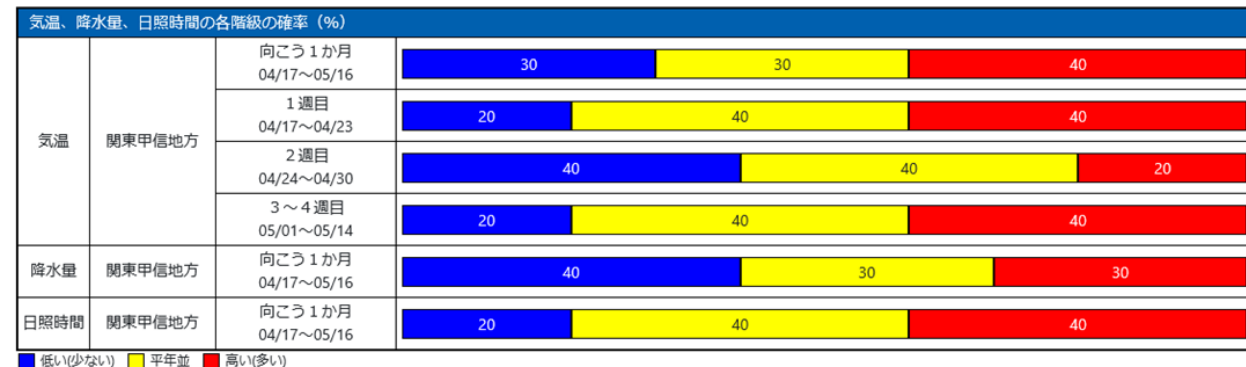
2. 今後の見通し

(1) 気象予報

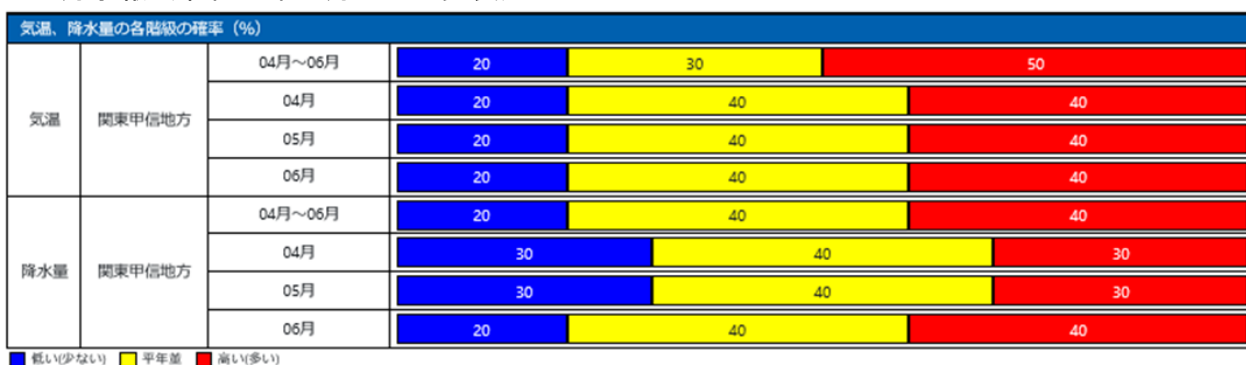
令和3年4月15日気象庁発表の関東甲信地方の1か月予報(4月17日から5月16日までの天候見通し)によると、向こう1か月の気温は「高い」の確率が40%、降水量は「少ない」の確率が40%となっています。

また、3月24日気象庁発表の3か月予報(4月から6月までの天候見通し)によると、向こう3か月の気温は「高い」の確率が50%、降水量は「平年並」及び「多い」の確率が40%となっています。

1か月予報(令和3年4月15日発表)



3か月予報(令和3年3月24日発表)



(2) ダム・貯水池の工事に伴う貯留制限

令和3年度は、貯水池の維持管理、ゲート設備の維持修繕工事等を行うことを検討しています。

荒川4ダムのうち、二瀬ダムは、令和元年の台風19号でダム貯水池内に堆積した土砂の掘削工事を引き続き実施するため、10月から来年3月末まで貯水量を制限した運用を検討しています。浦山ダムは、ゲート設備の整備工事を実施するため、来年1月下旬から3月上旬まで貯水量を制限した運用を検討しています。

なお、工事に伴う貯留制限については、1日でも早く貯留ができるように適切な工程管理に努めて参ります。

関東地方の主要な河川と水資源開発施設

